



ホームページ <https://www.osaka.shizenha.net/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/coop.shizenha.osaka>

【注文専用ダイヤル】
フリーダイヤル **0120-408-154**

携帯電話(無料通話プランなし) 0570-050-154
携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-666-3321
受付時間 ①10:00~21:00 ②~④8:00~21:00 ⑤8:00~10:10

イベントのお申込み方法

メールorお電話にて①~⑥をお伝えください。

- ① イベントID
- ② 組合員名
- ③ 組合員コード(一般の方は一般)
- ④ 参加人数・参加者氏名
- ⑤ 連絡先
- ⑥ 託児の有/無(託児を設けているイベントのみ)、
お子様の氏名・年齢(月齢)・性別

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選後、落選者のみ【⑤連絡先】へご連絡いたします。
※イベント開始3時間前に気象警報が出ていた場合、中止となります。詳しくはHPをご覧ください。

【組合員サービスセンター】
フリーダイヤル **0120-408-300**
携帯電話(無料通話プランなし) 0570-063-008
携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-603-0080
受付時間 ①~④8:30~20:00

✉ 件名に「コープ自然派イベント申込」と入力ください。
kodama07@shizenha.co.jp

※お申し込みのメールを受信後、いただいたメールアドレス宛てに確認のメールを送信いたします。(携帯電話で送受信をされる方は、パソコンからのメールも受信されるよう設定をお願いします。)
※お申込み後、2営業日を過ぎて返信がない場合は、組合員サービスセンターへお問合せください。

イベントに参加できなくなった場合は、イベント開始までに必ず組合員サービスセンターへご連絡ください。
ご連絡いただけない場合は、イベント参加費・材料費・託児費を商品代金と一緒に支払いいただきます。

イベントID: 07234037

主催: 理事会

にんじんキャラバン! fromくまもと
~佐藤さんの種採りにんじんのおはなし~

「種採りにんじん」って知っていますか? 熊本県山都町の種採りにんじんの生産者、佐藤さんは「黒田五寸」という固定種のにんじんを育て、種を採り続けて20年以上になります。畑のにんじんをほったらかしにしていたら種が採れる訳ではありません。冬は種取り用のにんじんをハウスに植え、初夏の暑い中、汗だくで種を採ります。種採り用に選ぶにんじんは、形の良いものだけでなく色んな個性のあるものを想いを込めて選ぶそうです。これこそ「多様性」ですね!
種採りは手間がかかりますが、止めたらここまで続いた「いのち」が終わってしまう……。この「いのち」をつなぐ佐藤さんの種採りへの強い想いと誇りを聞いて、実際に育てられた個性豊かなにんじんたちをおいしくいただいて楽しく応援しましょう♪

■日時: 12月14日(木) 10:30~12:30

■場所: ドーンセンター 中会議室③ 4階

■講師: 佐藤真実さん

最寄り駅: 京阪「天満橋」駅、Osaka Metro谷町線「天満橋」駅、JR東西線「大阪城北詰」駅

講師プロフィール: 熊本県出身。様々な仕事を経験後、結婚を期に親の代から50年続く有機農家にUターン。妻と子供5人。メイン作物は自家採種人参で黒田五寸人参から種採りを始め25年種採りを続ける。季節毎にキュウリ、玉ねぎ、里芋、ほうれん草など多種多品目を作付けしています。

■参加費: 組合員300円、組合員以外450円

■定員: 25名

■託児: なし。託児対象外(1歳未満)・子どもの同伴: 可

■持ち物: 飲み物、筆記用具、マイ箸、マイカップ、マイ皿、ふきん

■〆切: 12/8(金)

2023年12月2回
カタログ37号

提出日... 12月 4日(月)~12月 8日(金)
配達日... 12月11日(月)~12月 15日(金)

021135 谷農園の野菜セット 1000円

(税込1080円)

谷農園の
野菜セット

おおさかの組合員の皆さまの食卓へ、三重県の大自然から土の香りとともに美味しい旬の野菜をセットにしてお届けします。

- * 農薬は使っていません。
- * 内容は変更になることがあります。

■ 11月5回(11/27~12/1お届け) 野菜セット予定

小松菜2束分・ステツクセニョール・赤大根・ホウレン草・大阪しろな・なばな

冬野菜で再開!

021142 小さな農家の野菜セット 1000円

(税込1080円)

自然あふれる大阪・茨木の里山で
地産地消・安心安全を目指して奮闘する、
茨木オーガニック農業推進協議会メンバーが
作る野菜セットです。

『茨木オーガニック農業推進協議会』って?
農家や茨木市農林課、NPO、コープ自然派おおさかなどが参加する、
地域にオーガニックを推進する協議会です。

白菜、キャベツ、芽キャベツ、ブロッコリー、人参、大根、かぶ、水菜、小松菜、
ほうれん草など 5~6品 (白菜など大型野菜はカットしてお届けします)

天候や生育状況
によりセット
内容や金額を
変更する
ことがあり
ます。

酒類販売管理者標識	
販売場の名称及び所在地	コープ自然派おおさか 大阪府茨木市島1丁目12番37号
酒類販売管理者の氏名	藤原 康成(フジワラヤスナリ)
酒類販売管理研修受講年月日	令和5年4月21日
次回研修の受講期限	令和8年4月20日
研修実施団体名	門真小売酒販組合

こんにちは!
憲法連絡会です

憲法や平和や民主主義って、大切だけど難しいイメージ!そこでコープ自然派奈良・京都・おおさか・兵庫・しこくの5生協が集まって、憲法連絡会という情報交換の場をつくりました。メンバーは現在7名。そこで話し合ったトピックスを不定期でお伝えします♪

Vol.6 今回のテーマは 広島平和記念資料館

2023年8月19日、広島平和記念資料館を訪問。メンバーが感じたことの一部をお伝えします。「核(原発)のない世界」そして平和な未来をみんなで目指しましょう。

あれだけ街が焼けたのに全く感じさせない...
広島復興力のすごさを感じた。

『祈りの泉』の噴水にはしゃぐ姿を見ながら、「水をください」と言いながら亡くなった犠牲者に思いを馳せる。

核爆弾は今も世界中にある。スイッチ1つで発射できる。核のない世界に向かっていくにはどうすれば良いのか?

資料館にはこれだけ多くの人が来ているのに、ふだん核や原発が話題にならないのはなぜ?

ここに来たみんなは日常に戻ったら、平和のために何をやるの?

建物疎開(火災が広がるのを防ぐため建物を壊す作業)に動員された子どもたちが多く犠牲になったことに胸が痛んだ。

生き残っても、苦しみながら数カ月後、数年後、数十年後に亡くなっていった事実がどれだけ伝わっているだろうか。

アメリカが原爆を落とした理由(アメリカの言い分)については、非常に憤りを感じた。

原爆投下前の広島の人々の暮らし、投下後の悲惨な様子がずしんと伝わってきた。

アメリカをはじめ外国の人たちが多く来場され熱心に見ていたが、どんな風に捉えているのだろうか...

改めて、核廃絶に関する世界的な動きに対して、日本政府が消極的な立場であることに甚だ疑問に思う。

核兵器を保有することで、自国の力を世界に示すことができる、という発想がばかばかしくさえ感じる。

参考:憲法第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

【報告】 ■理事会(おおさか)

8/4 田んぼの生きもの調査
~いばらきの里山で生きものを探そう♪🐾

数年ぶりに大阪での生きもの調査を開催。大阪でも茨木市は中心地から30分ほど離れるだけで山に行くことができ、棚田があり里山の風景が広がります。今回はコープ自然派おおさかが事務局を担う、茨木オーガニック農業推進協議会のメンバーである野路さんの田んぼを調査しました。野路さんの田んぼは長く農薬を使っておらず、山の一番水を使用した田んぼです。



今回は生きもの調査の講師に大阪公立大学大学院で田んぼや池にすむ生きものの関わりについて研究をされている鈴木真裕さんに来ていただきました。受付の時点で子どもたちは入水準備OK!水着や網、かごを持って準備バッチリ!やる気と意気込みを感じます!調査の事前下見の段階ではカエルくらいしか見つけられませんでした。先生と一緒に生きものを探すとアカハライモリをはじめ、小さいウーパールーパーのようなアカハライモリの赤ちゃん、かわいいニホンアマガエル、卵をたくさん背負ったコオイムシ、ミスカマキリ、ヌマエビ、ヤゴ、ガムシなど20種~30種類ほど見つけることができました!

講師の鈴木さんも最初から最後まで子どもたちと一緒に生きものを探し、一つずつ詳しく説明していただけた「これだけ絶滅危惧種がいるのはすごいです!農薬を使用していないからではないでしょうか!」と、今回の調査の成果にお墨付きをいただきました!厳しい暑さの中でしたが、大人も子どもも楽しく参加しながら、農薬を使わないということは豊かな生態系を守ることができることを知ることができました!



大阪ではなかなか開催ができなかった生きもの調査ですが、これからも組合員と一緒に農薬を使わない農業への理解や関心をもつ機会を増やしていきたいです♪

イベントID：07234048

主催：自然派シネマ

自然派シネマちいさな上映会@からふる

「ガザ 素顔の日常」(2019年/アイルランド・カナダ・ドイツ/ 92分)

「平和が欲しい。ただ普通に暮らしたい。」
東京23区の6割ぐらいの狭い場所にパレスチナ人約200万人が暮らすガザでは人々が貧困にあえいでいる。
イスラエルが壁で囲み封鎖したため物資は不足し移動の自由もなく「天井のない監獄」と呼ばれる。

それでも日常を力強く生きようとする人々がいる――。

「欲しいのは平和と普通の生活」。ガザの人々は普通の暮らしを今日も夢見ている。

上映後は感想をシェアする時間を設けますので、是非ご参加下さい。

■日時：12月11日(月) 14:00~16:00

■場所：からふる フリースペース した (13:45~受付)

※時間になりましたら上映を始めます。遅れないように早めにお越しください。

(大阪市中央区谷町6丁目15-20) 大阪メトロ谷町線 谷町六丁目駅

■参加費：組合員500円 組合員以外800円

学生(小学生~大学生フリースクール生) 200円

■定員：8名 ※なるべくお釣りの要らないよう小銭をご用意ください

■託児：あり(1歳~未就学児まで) 託児申込み締切日：12/4(月)

組合員500円/1名、組合員外750円/1名

託児対象外(1歳未満)・子どもの同伴：不可

(不可の理由：※作品の性質上)

■持ち物：筆記用具・飲み物

■〆切：12/4(月)



※予告編は
コチラから



グーグル
マップで
見る



【報告】 ■和歌山の学校給食を考える会

8/26 コープ自然派の食材を使って、サンドイッチを作ってみよう&学校給食についてのおしゃべり会

これまで和歌山市内のイベントでしたが、海南市在住のメンバーがいることや、海南市の行政に話を聞きにいったメンバーがいることから、海南市在住の方にも学校給食への関心を持ってもらえたらと初開催しました。テーブルロール、ロースハム、有機きゅうり、有機トマト、クリームチーズ、国産イチゴジャムを使い2種類のサンドイッチ作りしました。パンやハム、野菜の切り方は自由だったので、こどもたちは見せ合いっこしながら個性豊かなサンドイッチが出来上がりました。参加者(こども)には、自己紹介を兼ねて好きな給

食を教えてもらいました。恥ずかしながら答えてくれましたよ。

これまで和歌山市で行ったイベント(栄養士さんを招いてのお話会、県産小麦でパンを作ろう、農園で有機野菜を収穫&クッキング)や、海南市への働きかけ(2021年に学校給食に関する質問をした際の返答、市議との懇談)を報告しました。

海南市の給食について尋ねると、参加者からは「燃料費高騰を受けて給食費が30円上がった」「保育園の給食がどんどん外部委託されている。過去には異物混入があり子どもが食べてしまった」「センター給食なので、残食が多いと聞いたことがある」「給食は作ってくれるだけでもありがたい」など海南市の学校給食の実情について話してもらうことができました。

<参加者の声>

- ・地域の給食の有機野菜について知ることができ、勉強になりました。給食についてはおまかせだったのですが、もっと意識を持つことが大切だと感じました。
- ・海南市の給食が良くなるよう、小さい風穴から大きな風穴になるよう少しずつ食の大切さを一人一人意識できるよう、身近な人に今日は教えてもらった活動などを話してみようと思います。
- ・いろいろな話を聞くことができて良かった。
- ・海南市の有機小麦を作ってくれているのは非常にありがたいです。有機の作物が作れる環境をみんなで作っていきたいです。有機のお米をまず給食に入れていけるといいなと思います。
- ・農業が盛んな海南市でもやはり地産地消は難しいんだなと思いました。行政は協力的でやはり歩み寄ることの大切さを教わりました。これからも一緒に楽しい企画を作っていきましょう。ありがとうございました。

イベントを通して海南市の学校給食に関心を持ってもらうことができたので、今後は和歌山市・海南市以外の地域(紀の川市)でも開催したいと考えています。

イベントは私たち組合員が企画しています。 イベントと一緒に考える仲間を募集しています。月に1度のペースで話し合いをしているので、気軽に見に来てください。

● 12月の委員会カレンダー

日	曜日	時間	会議名	会場
1	金	9:30~11:30	ひょうたんブロック	やまなみプラザ(東大阪市四条リージョンセンター)
7	木	10:00~12:00	商品委員会	からふる
13	水	10:00~12:00	桜ブロック	おにくる和室
15	金	10:30~12:30	吹田ブロック	山田夢つながり未来館
18	月	10:00~12:00	京阪ブロック	さだ生涯学習センター
20	水	10:00~12:00	ビジョンたべる	からふる
21	木	10:30~12:30	おおさか南ブロック	天王寺区民センター

日時が変更になる場合もありますので、見学希望の方は、事前に組織企画へ、お問い合わせください。組合員サービスセンターへTELまたは下記メールアドレスにて mail: kikaku07@shizenha.co.jp

イベントID：07234053

主催：からふる

からふる＊手仕事カフェ

刺繍や編み物、各種クラフトを「からふる」に持ち寄っておしゃべりしながら作業しませんか?これを機会におうちに眠っているキットをお持ちいただいたり、手芸はしないけどふらっとおしゃべりしに来るなんていうのも大歓迎。気負わず気楽にどうぞ♪オーガニックコーヒー、紅茶、ハーブティーなど飲み物をご用意しております。11:00~16:00の間でしたらいつ来ていただいても大丈夫♪お好きなスタイルで参加してください。楽しい時間を過ごしましょう♪

■日時：12月11日(月) 11:00~16:00

の間の好きな時間 ※予約不要

■場所：からふる フリースペース うえ

■参加費：組合員200円

(大阪市中央区谷町6-15-20) 大阪メトロ谷町線 谷町六丁目駅

■託児：なし。託児対象外(1歳未満)・子どもの同伴：不可
(手仕事には針やハサミがあることが予想されるため)

■持ち物：マイカップ、手仕事のたね

グーグルマップ
で見る→



予告

主催：自然派シネマ(和歌山)

自然派シネマ ちいさな上映会@わかやま

「ガザ 素顔の日常」(2019年/アイルランド・カナダ・ドイツ/ 92分)

からふるに続いて、和歌山でも上映します!連日報道されるガザ地区の状況に心を痛めている方も多いと思います。ガザの人々の暮らしを知り、平和について考えてみましょう。

■日時：12月19日(火) 10:00~12:00 (受付9:45~)

■場所：コープ自然派おおさか和歌山センター くみかつ室WA

※詳しい内容は12月4日~配布のWA36号に掲載致します。(受付開始もWA36号配布以降となります)

【外部イベント】

主催：NPO国産材住宅推進協会

現場で学ぶセミナー・構造見学会「想いを繋ぐ平屋の家」

神戸市北区で10月に棟が上がった平屋の、建築途中の現場で学ぶセミナーです。50年前にお父様(亡)が建てた平屋の家を取壊し、母のために同じく平屋を新築するのはご長男です。母が暮らし慣れた当時の建物の配置や間取りを加味し、変化の負担が少ない計画にし、また老後を暖かく安全に暮してほしいと、断熱等級6と耐震等級3を確保し、温度変化が少なく暮らしやすい家を目指しました。今回は中盤にさしかかった現場で、設備関係、自然素材を取り入れた内装工事や木製建具など選択の注意点や、現代の温熱・耐震計画など、実際どのように施工されているかをご覧くださいながら説明します。

■日時：12月9日(土) 13:30~

■集合場所：神戸電鉄「谷上」駅改札口 (見学会場まで徒歩約8分です)

■参加費：無料

■申込締切：12/8(金)

■詳細・申込：

NPO 法人国産材住宅推進協会 (06-6395-3332)

【メール】info@kokusanzanai.org



申込みフォーム

【報告】 ■自然派シネマ

9/19 自然派シネマ@からふる

ちいさな上映会「TERRA ぼくらと地球のくらし方」

2021年、世界中がパンデミックで混乱の中、パーマカルチャーに魅了された夫婦が一歳の息子を連れて日本各地とアメリカ西海岸へ撮影の旅に出た。共生革命家のソーヤー海と一緒に、より良い世界をつくるために活動するパーマカルチャーの実践者達に会いに行く。

パーマカルチャーとは、パーマネント(永続性)、農業(アグリカルチャー)、文化(カルチャー)を組み合わせた言葉で、永続可能な循環型の農業をもとに、人と自然がともに豊かになるような関係性を築いていくためのデザイン手法を意味する。デザインの対象は農業だけにはとどまらず、植物や動物、建物、コミュニティなど、生活すべてとされている。

パーマカルチャーとは「持続可能な暮らし方」そのもののなのだ。

パーマカルチャーの実例として、地方はもちろん、都会でもできる取り組みも多く紹介されているのが本作の魅力だ。都会での生活は、全てが分断されている。循環から断ち切られ、エネルギーを消費する。そして、不自然な歪みの負債を、地方が請け負うこととなる。

都会の中で里山を目指し、東京のビルの屋上に菜園をつくる。簡単に楽しくできるコンポストを普及し、近くの菜園に堆肥が届く仕組みを作る。近隣への騒音を配慮し、鶏でなくウズラを育てる夫婦。自分たちで何ができるかを模索し実践する人々の姿が魅力的だ。

参加者同士の感想シェア会は、都会で暮らす中での葛藤を持ちつつも、マンションや自宅の庭で稲を育てたり、豆を育てる実践と、太陽光で調理とかできないかな?など、これから何ができるだろうかと、楽しく語り合えた。

<参加者の声>

- ・都市でパーマカルチャーをいかにしていくか、・・・
- ・ピンクのぼうしのおじさんがおしっこをボトルにためてトイレに流さずに循環させているのが印象に残りました。都会がかわらなければ、そうですね・・・
- ・フォレストガーデンを作りたいと思った。ソーラークッカーもちょっと気になりました。都会がかわらないと都市と権力を持っている人が変わらないといけなというのほんとにそうだ!
- ・パーマカルチャーの捉え方や実践している人たちの様々な生活を見て、パーマカルチャーとは?が少しわかった気がしました。自然にあこがれるから、散歩で公園に行く。でも、生活の中には自然を感じることが少ない。自分の生活の中で自然とはなれていることを強く感じた。

